



第720回抄録委員会（1月9日）

本誌4月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議を行った。

配管設計講習会（北海道会場：1月10日～12日、関東会場第2回：1月16日～18日）

水道事業体及び設計業者の方々88名（北海道会場43名、関東会場第2回45名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について、研修を実施した。

第99回経営調査専門委員会（1月11日）

はじめに、審議事項1「副委員長の互選について」を上程し、副委員長には永澤仙台市水道局総務部企画財務課長を選任した。

次に、審議事項2「地下水利用専用水道等に係る水道料金の考え方と料金案追補版の作成について」を上程し、作成することが了承され、事務常設調査委員会に上程することとした。



次に、メンバー都市から提案された情報交換事項「①地下水利用者の水道回帰について」、「②経営指標の活用について」、「③廃止済みの水道施設の撤去等について」、「④将来の施設更新費用の財源確保について」、「⑤広域連携推進の検討体制」の5題について情報交換を行った。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第8回：1月16日～19日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々14名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第29回給水装置に関する規格専門委員会（1月17日）

初めに委員長の互選を行い、山口横浜市水道局給水維持課長が選出され、その後、副委員長に都丸東京都水道局給水課長が指名され、了承された。

続いて、JWWA規格の定期調査に基づく改正・廃止を予定している規格について審議を行い、審議形態及び優先順位が了承された。

なお、上記案は、3月開催予定の第188回工務常設調査委員会へ上程し、改正及び廃止の検討開始について審議する予定である。

第962回会誌編集委員会（1月18日）

本誌2月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。

水道施設管理技士1・2級資格試験（実施日：1月21日）

平成29年度水道施設管理技士1級及び2級の資格試験を全国7会場（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市）で実施し、計924名が受験した。

水道技術者専門別研修会（浄水施設部門）（1月22日～26日）

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々80名の参加を得て、「水道事業の現状と課題」、「水質管理」、「浄水施設～取水・沈澱等～」、「浄水施設～汙過・排水処理等～」、「浄水処理～膜・紫外線・高度浄水等～」、「浄水場見学（北千葉広域水道企業団北千葉浄水場）」、「機械設備・電気設備」、「計装設備」、及び「運転・保全管理と業務委託」について、研修を実施した。

平成29年度第2回水道施設地震リスク管理検討委員会（1月26日）

昨年10月に台湾・台南市で開催された第10回日米台水道地震対策ワークショップの開催報告を行うとともに、ワークショップ後に日本人参加者を対象に実施したアンケート結果について説明を行い、今後のワークショップについて審議・意見交換を行った。



水道技術者専門別研修会（機械・電気・計装設備部門）（1月29日～2月2日）

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々80名の参加を得て、「水道事業の現状と課題」、「機械設備（Ⅰ）～ポンプ及び浄水・排水処理設備～」、「機械設備（Ⅱ）～高度浄水処理・膜汙過設備・紫外線～」、「浄水場見学（北千葉広域水道企業団北千葉浄水場）」、「電気設備～受電・変電・配電設備～」、「計装設備～浄水処理設備の計測・制御及び遠方監視制御設備の制御～」、「運転・保全管理と業務委託」、及び「機械・電気・計装設備の更新」について、研修を実施した。

第128回水道 GLP 認定委員会（1月31日）

水道 GLP 認定について、横須賀市上下水道局（JWWA-GLP004）、神奈川県企業庁（JWWA-GLP006）、倉敷市水道局（JWWA-GLP057）、岡山県広域水道企業団（JWWA-GLP102）と株式会社山梨県環境科学検査センター（JWWA-GLP105）が認定更新検査機関として、君津広域水道企業団（JWWA-GLP034）、岡山市水道局（JWWA-GLP035）、公益財団法人島根県環境保健公社（JWWA-GLP036）、盛岡市上下水道局（JWWA-GLP078）と尼崎市水道局（JWWA-GLP124）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

水道技術者専門別研修会（給水装置部門）（2月5日～9日）

水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々95名の参加を得て「水道事業の現状と課題」、「給水装置概論」、「給水装置の構造及び材質の基準」、「給水管及び給水用具」、「指定給水装置工事事業者制度」、「給水装置の設計・水理計算演習」、「給水装置工事の施工等」「給水装置の維持管理」「給水装置の事故事例とその対応」について研修を実施した。

第79回中小規模水道問題協議会（2月7日）

はじめに、中小規模水道問題協議会出席者の推薦方法について審議し、中小規模水道問題協議会開催要領が変更された。

次に、秩父広域市町村圏組合より「秩父地域の水道広域化」について、発表があった。

さらに、メンバー都市及び事務局から提案された情報交換事項①災害時重要給水施設の選定基準について、②閉栓時の無断使用対策について、③大口水道利用者に対する地下水利用への転換に対する対策について、④私有地に布設された配水管等の取扱いについて、⑤夾雑物による水質悪化への対策について、それぞれ情報交換を行った。

最後に、事務局より、民法の改正、日本水道協会全国地震等緊急時訓練、地下水利用専用水道等に係るアンケート調査について、報告を行った。

